

ニッペ ファインウレタンU100

万能形ポリウレタン樹脂塗料の代名詞。



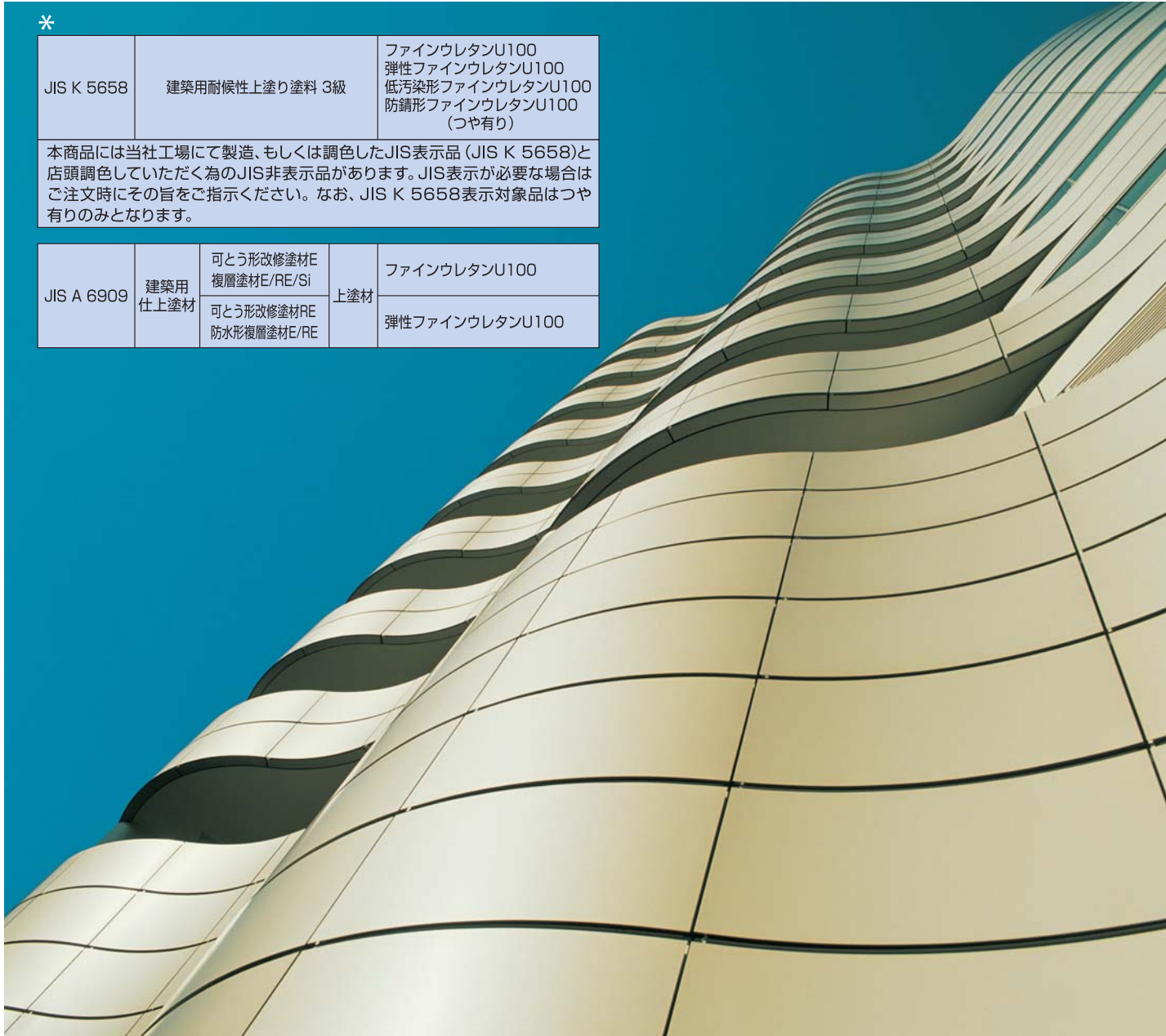
※硬化剤を替えることで性能が拡がります。

ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆
------------------	-------

*

JIS K 5658	建築用耐候性上塗り塗料 3級	ファインウレタンU100 弾性ファインウレタンU100 低汚染形ファインウレタンU100 防錆形ファインウレタンU100 (つや有り)
本商品には当社工場にて製造、もしくは調色したJIS表示品 (JIS K 5658)と店頭調色していただく為のJIS非表示品があります。JIS表示が必要な場合はご注文時にその旨をご指示ください。なお、JIS K 5658表示対象品はつや有りのみとなります。		

JIS A 6909	建築用 仕上塗材	可とう形改修塗材E 複層塗材E/RE/Si	上塗材	ファインウレタンU100
		可とう形改修塗材RE 防水形複層塗材E/RE		弾性ファインウレタンU100



ファインウレタンU100シリーズ・弾性ファインウレタンU100／低汚染形ファインウレタンU100／防錆形ファインウレタンU100

**ペイントかわら版
読者募集!**

登録無料
いますぐご登録を。

ニッペ ファインウレタンU100 8つの特長

① 高耐候性

ウレタン架橋による緻密な塗膜を形成し、高い耐候性を有します。

② 低汚染性*

独自の親水化技術により、すぐれた低汚染性を有しています。

※専用の低汚染形硬化剤を使用した場合にのみ。

③ 防錆性*

ポリウレタン樹脂系上塗料の耐候性と、シアナミド鉛さび止めペイント (JIS K 5625) 相当の防錆性を有しています。

※専用の防錆形硬化剤を使用した場合にのみ。

④ 防藻・防かび

藻・かびの発生を抑え、建物の美観と清潔な環境をまもります。

⑤ すぐれた仕上がり性

かぶり (隠れ性) が抜群で、肉持ちの良い塗膜が得られます。

⑥ ターペン可溶ですぐれた塗り替え適性

塗料用シンナーAで希釈するタイプですので、改修時に下地を気にせず安心してご使用いただけます。また、臭気がやわらかく、作業環境にもやさしい塗料です。

⑦ 幅広い素材適性

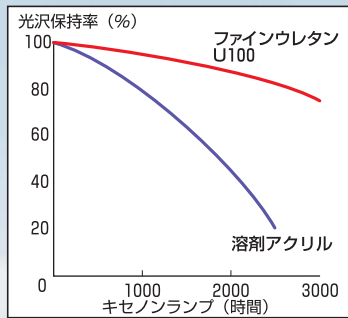
外壁、鉄部、FRP、硬質塩化部、木部などの新設、塗り替えと幅広く使用できます。

⑧ 透湿性

水蒸気透過性にすぐれており、結露から建物をまもります。

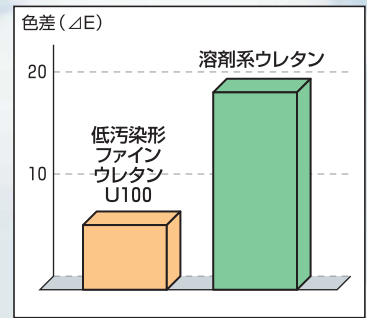
● 高耐候性

[促進耐候性試験結果]



● 低汚染性

[屋外暴露6か月の雨だれ暴露促進試験結果]



※色差 (ΔE) は、数値が大きいほど雨だれ汚染性が悪いことを示しています。

● 性能

試験項目	規格	性能	
容器の中での状態	堅い塊がなくかくはんにより一様になること。	合格	
混合性	塗料液と硬化剤が簡単に混ざること。	合格	
作業性	ローラー、吹付け作業に支障がないこと。	合格	
ポットライフ (h)	8以上/23°C	10	
乾燥時間 (分)	指触	60以内/23°C	20
	半硬化	120以内/23°C	40
60度鏡面光沢度	80以上	85	
耐水性 (23°C)	水に7日間浸しても異常がないこと。	合格	
耐アルカリ性	5%NaOH溶液に24時間浸しても異常がないこと。	合格	
促進耐候性	照射時間1200時間で見本品と比べて促進耐候性が劣らないこと。	合格	

● 実用性能表

比較項目	ファインウレタンU100	市販アクリルウレタン (ウレタンシンナータイプ)	市販アクリルウレタン (塗シンナータイプ)	
希釈率	5~10%	20~40%	5~10%	
ポットライフ	10時間	4時間	9時間	
はけ塗り適性	はけさばき	◎	△	○
	はけ目	◎	○	○
	かぶり	◎	△	△
	光沢	○	◎	△
ローラー塗り適性	肉持感	○	○	○
	ローラーマーク	○	○	○
	かぶり	◎	△	△
	光沢	○	◎	△
発泡性	肉持感	○	○	○
	発泡性	◎	△	△
	ダレ性	○	○	△

塗膜性能

試験項目		試験条件	ファインウレタンU100	防錆形 ファインウレタンU100	市販2液形ウレタン (ウレタンシンナータイプ)	市販2液形ウレタン (塗シンナータイプ)
初期性能	光沢	60°鏡面光沢度	85	85	90	74
	鉛筆硬度	7日間乾燥後	H	H	H	F
	付着性	1mm幅10×10碁盤目	100/100	100/100	100/100	100/100
	耐屈曲性	φ2mmの折り曲げ	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
耐薬品性	耐アルカリ性	23°C 5%苛性ソーダ液 24時間浸漬	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
	耐酸性	23°C 3%硫酸液 24時間浸漬	異常なし	異常なし	異常なし	つや引け発生
耐久性	耐水性	23°C 7日間浸漬	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
	耐温水性	60°C 24時間浸漬	異常なし	異常なし	異常なし	つや引け発生
	温冷繰り返しサイクル試験	JIS A 6909 複層仕上塗材 10サイクル	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
	促進耐候性	キセノンランプ 1200時間 光沢保持率	85%	85%	85%	70%

新設の場合

● コンクリート面 吹付けタイル仕上げ (JIS A 6909 複層塗材E)

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペファイン浸透シーラー	1~2 ^{*1}	0.16~0.20	3時間以上7日以内 ^{*2}	無希釈	—	ウールローラー/エアレススプレー
主材	タイルラックEMA-Sベース100K	1~2 ^{*3}	1.40~2.00 ^{*3}	16時間以上	水道水	1~3	タイルガン
上塗り①	ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	2時間以上	塗料用シンナーA	5~10	ウールローラー エアレススプレー
上塗り②	ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	—	塗料用シンナーA	10~15 5~10	ウールローラー エアレススプレー

※上記下塗り以外に、浸透性シーラー（新）、一液浸透シーラーなども使用できます。

● DANタイルの上塗りとして使用できます。(JIS A 6909 防水形複層塗材E)

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法	
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。							
下塗り	水性カチオンシーラー（透明）	1	0.10~0.16	4時間以上	無希釈	—	はけ/ウールローラー	
中塗り	ベース吹き	DANタイル中塗	1	1.40~1.80	4時間以上	水道水	5~8	タイルガン
	模様吹き	DANタイル中塗	1	0.80~1.20	16時間以上	水道水	1~3	タイルガン
ヘッド押さえ	必要に応じてヘッド押さえを実施する。（押さえ用ローラーに塗料用シンナーAをつけ、模様吹き工程直後から30分の間に凸部を押さえる。）							
上塗り①	弾性ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	2時間以上	塗料用シンナーA	5~10	ウールローラー/エアレススプレー	
上塗り②	弾性ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	—	塗料用シンナーA	10~15 5~10	ウールローラー エアレススプレー	

※上記下塗り以外に、水性カチオンシーラーホワイト、浸透性シーラー（新）、一液浸透シーラー、ファイン浸透シーラーなども使用できます。

● コンクリート面 平滑仕上げ

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペファイン浸透シーラー	1~2 ^{*1}	0.16~0.20	3時間以上7日以内 ^{*2}	無希釈	—	ウールローラー/エアレススプレー
上塗り①	ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	2時間以上	塗料用シンナーA	5~10	ウールローラー エアレススプレー
上塗り②	ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	—	塗料用シンナーA	10~15 5~10	ウールローラー エアレススプレー

● 一般鉄部

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	完全に付着したミルスケールは残すが、それ以外の不安定なミルスケール、さびは電動工具を用いて除去する。また、塵埃、油脂分なども入念に除去する。						
下塗り	ハイボンファインプライマーII	1	0.16~0.18	4時間以上7日以内 ^{*2}	塗料用シンナーA	0~10 0~5	はけ/ウールローラー エアレススプレー
上塗り①	ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	2時間以上	塗料用シンナーA	5~10	ウールローラー エアレススプレー
上塗り②	ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	—	塗料用シンナーA	10~15 5~10	ウールローラー エアレススプレー

※一般鉄部には上記のさび止め塗料以外に、ハイボン20デクロ、1液ハイボンファインデクロ、速乾シアナドヘルゴン下塗、速乾PZヘルゴンエコ、パーフェクトプライマー、エスパーワンエースも使用できます。
※さびが発生しやすい溶接部などの現場溶接部については、入念な下地調整後、下塗り塗料（さび止め塗料）で部分補修塗りをしてから下塗りしてください。

※上記の各数値は、すべて標準のもので、被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）

※カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。

特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただけますようお願いいたします。

※旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。

※1) めれ感が出るまでを目安にしてください。素地への吸い込み箇所がある場合は、その部分を増し塗りしてください。

※2) 高温下では硬化反応が著しく速まります。高温時の施工では、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。

※3) 記載している主材の使用量は、塗り回数1~2回で使用するトータル量です。

塗り替えの場合

● 各種外壁 吹付けタイル・サイディングボードなどのトップコートの塗り替え

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地改修工事	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果に基づいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	活膜を残し、膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺部分を含めて入念に除去する。 ごみ、砂じん、油分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
上塗り①	ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	2時間以上	塗料用シンナーA	5~10	ウールローラー エアレススプレー
上塗り②	ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	—	塗料用シンナーA	10~15 5~10	ウールローラー エアレススプレー

※下地・旧塗膜の劣化が著しい場合には、付着不良などの不具合を生じる場合がありますので、下塗りに「ファイン浸透シーラー」を塗装してください。

標準塗装仕様

● 各種外壁(旧塗膜)面 微弾性フィラー(なみがた)を用いた塗り替え

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地改修工事	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果に基づいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	活膜を残し、膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺部分を含めて入念に除去する。ごみ、砂じん、油分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	パーフェクトフィラー	1	0.50~0.90	4時間以上	水道水	1~5	砂骨ローラー
上塗り①	ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	2時間以上	塗料用シンナーA	5~10	ウールローラー
							エアレススプレー
上塗り②	ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	—	塗料用シンナーA	10~15	ウールローラー
						5~10	エアレススプレー

※ニッペパーフェクトフィラーをローラー施工する際に、高温時や風が強い場合などの乾燥が早まるような条件下では、希釈率を上限値の範囲内で調整することを推奨します。(作業性や仕上がりの向上を更に図ることができます。)

● 木部

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	よごれ、付着物などをサンドペーパーで除去する。やにはあらかじめラックニスなどで処理しておく。						
下塗り	1液ファインウレタンU100 木部下塗り	1	0.12~0.20	4時間以上7日以内	塗料用シンナーA	5~10	はけ・ウールローラー
上塗り①	ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	2時間以上	塗料用シンナーA	5~10	はけ・ウールローラー
上塗り②	ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	—	塗料用シンナーA	10~15	はけ・ウールローラー

※「1液ファインウレタンU100木部下塗り」に「ファインウレタンU100」は混ざりません。

● 各種弾性形塗料の塗り替え

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地改修工事	下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果にもとづいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	旧塗膜のほごり、よごれを除去した後、サンドペーパー、ウエスなどで素地を調整する。						
上塗り①	弾性ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	2時間以上	塗料用シンナーA	5~10	ウールローラー/エアレススプレー
上塗り②	弾性ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	—	塗料用シンナーA	10~15	ウールローラー
						5~10	エアレススプレー

※旧塗膜上塗りが液形アクリル弾性の場合…メーカーによっては不具合(チヂミ)が起きる場合がありますので、その日のうちに2回塗りで仕上げてください。

● 金属素地系 アルミカーテンウォール

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含め入念に除去する。さびは電動工具や、サンドペーパー・研磨布などを用いて除去し、清掃する。						
下塗り	ハイボンファインプライマーII	1	0.16~0.18	4時間以上7日以内 ^{**2}	塗料用シンナーA	0~10	ウールローラー
						0~5	エアレススプレー
上塗り①	ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	2時間以上	塗料用シンナーA	5~10	ウールローラー
							エアレススプレー
上塗り②	ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	—	塗料用シンナーA	10~15	ウールローラー
						5~10	エアレススプレー

※シーリングの劣化には別途工事を要します。

● 一般鉄部

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地改修工事	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含め入念に除去する。さびは電動工具や、サンドペーパー・研磨布などを用いて除去し、清掃する。						
下塗り*	ハイボンファインプライマーII	1	0.16~0.18	4時間以上7日以内 ^{**2}	塗料用シンナーA	0~10	ウールローラー
						0~5	エアレススプレー
上塗り①	ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	2時間以上	塗料用シンナーA	5~10	ウールローラー
							エアレススプレー
上塗り②	ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	—	塗料用シンナーA	10~15	ウールローラー
						5~10	エアレススプレー

※一般鉄部には上記のさび止め塗料以外に、ハイボン20デクロ、1液ハイボンファインデクロ、速乾シアナミドヘルゴン下塗、速乾PZヘルゴンエコ、パーフェクトプライマー、エスパーワンエースも使用できます。
※さびが発生しやすいエッジ部もしくはさびが発生している箇所を塗装する場合、入念なケレン後、下塗り塗料(さび止め塗料)で部分補修塗りをしてから下塗りしてください。

● 一般鉄部(防錆形ファインウレタンU100での塗り替え)

塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含め入念に除去する。さびはワイヤブラシや、サンドペーパー・研磨布などを用いて除去し、清掃する。*1						
上塗り①	防錆形ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	2時間以上	塗料用シンナーA	5~10	はけ・ウールローラー
上塗り②	防錆形ファインウレタンU100	1	0.12~0.17	—	塗料用シンナーA	10~15	はけ・ウールローラー

*1 さびの発生が著しい場合や海浜部などの腐食環境が厳しい場合は十分な下地調整をした上で、下塗り(ハイボンファインプライマーIIなど)を塗装してください。
注) 特にさびが発生しやすい突起部やエッジ部の塗付け量に注意してください。

※上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

※カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。
特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただけますようお願いいたします。
※旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。

主な適用下塗り塗料

ニッペーパーフェクトフィラー	ニッペーパーフェクトサーフ
ニッペーパーフェクトプライマー	ハイボンファイブプライマーII
ニッペアンダーフィラー弾性エクセル	ニッペDANフィラーエポ
ニッペ1液ファインウレタンU100木部下塗り塗料 ^{注)}	

適用主材

ニッペタイルラックEMA-Sベース100K	ニッペタイルラックEPO-Sベース
ニッペタイルラックシリカ-Sベース	DANタイル中塗

注)「ニッペ1液ファインウレタンU100木部下塗り塗料」は、エポキシ樹脂塗料であるため「ファインウレタンU100」とは混ざりません。

*上記以外にも使用できる塗料がありますので、詳細についてはお問い合わせください。

適用下地	<ul style="list-style-type: none"> ●コンクリート面(現場打ち) ●セメント建材系 ●塗り替え改修用(アクリルリシン、吹付けタイル、その他旧塗膜) ●モルタル仕上げ面 ●ALCパネル ●鉄部 ●カラー鋼板(トタン屋根など)
------	---

塗料性状・荷姿

塗料名	色相	つや	容量	希釈剤	希釈率(%)		使用量 (Kg/m ² /回)	ポットライフ (23℃)
					はけ、ウルローラー	エアレスプレー		
ファインウレタンU100	各色	つや有り	15kgセット ■13.5kg ■1.5kg	塗料用 シンナーA	5~10(1回目) 10~15(2回目)	5~10(1回目) 5~10(2回目)	0.12~0.17 (はけ、ウルローラー エアレスプレー)	10時間
弾性ファインウレタンU100		7分つや有り	10時間					
低汚染形ファインウレタンU100		5分つや有り	8時間					
防錆形ファインウレタンU100		3分つや有り	10時間					

- ・2液形のため、「塗料液：硬化剤=9：1(重量比)」に混合し、十分にかくはんしてください。
- ・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
- ・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。
- ・ファインウレタンU100の硬化剤を専用硬化剤にそれぞれ替えるだけで、特性を付与することができます。
- ・JIS A 6909 仕様の組み合わせなど詳細については、お近くの販売会社(営業所)までお問い合わせください。

ファインウレタンU100施工上の注意事項

●詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などでご確認ください。

- ・「3~7分つや有り仕上げ」の場合、上塗りの1回目に「つや有り」、2回目に「3~7分つや有り仕上げ」をご使用ください。
- ・蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階で既に旧塗膜が剥れていることがあります。そのまま塗装すると剥れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、高熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なると、建材の変形、塗膜の剥れ、はく離が生じることがありますので、最寄りの営業所などにご相談ください。
- ・希釈用シンナーは塗料用シンナーAをご使用ください。冬期など乾燥が遅いときは、塗料用シンナーSAもご使用いただけます。
- ・FRP、塩ビに直接塗装する場合は、下地調整(目粗し)を実施してください。厚肉硬質塩ビなど素材の種類により非常に密着し難い素材の場合がありますので、あらかじめ試験塗装を実施し密着性を確認してください。
- ・鉄部には直接塗装できません。あらかじめ、さび止め塗料を塗っておく必要があります。つや調整品では、はけ、ローラーでの塗装はムラが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめ致します。
- ・つや調整品では、塗り継ぎや補修でつやムラが出やすいので、面を切って通して塗装してください。
- ・過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
- ・つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、塗り板見本を参考に試し塗りをしてください。
- ・つや調整品は、塗料液が分離しやすいので、よくかくはんしながらご使用ください。
- ・防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。既に繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- ・被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発現しない場合があります。
- ・著しい汚染が発生しそうな箇所には、状況に応じてニッペクリスタコートをオーバーコートとして塗装することをおすすめします。
- ・溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取り口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者への配慮をお願いします。
- ・所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやダレ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
- ・異なる色相を塗り重ねる場合(例：1回目の上塗りを塗装してから、別な色相でラインや帯などを塗装する場合など)2回目の上塗りが1回目の上塗りを侵してラインや帯などが変色(ブリードにより)する場合がありますのでご注意ください。
- ・結露の激しい箇所では、JIS K 5629(鉛酸カルシウムさび止め)の上には、塗装を避けてください。
- ・硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
- ・水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- ・硬化剤は湿気で硬化しますので密栓して貯蔵してください。
- ・塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようにご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分にご注意ください。
- ・塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合(高湿度、結露、降雨など)、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。
- ・旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこなっておそれがあります。
- ・内部塗替えにおいて旧塗膜がOP、FEなどの油性系の場合、研磨すりを行ってください。下地処理が不十分な場合は、塗膜はく離の原因となります。
- ・既存塗膜はく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- ・改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤剥れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認の上、塗装仕様をご検討ください。
- ・風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ1液浸透シーラー、ファインウレタンU100をご使用ください。
- ・シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- ・やがて著しく付着している場合は、ウエスなどでやけに水拭きし被塗表面を十分に乾燥させてから塗装してください。希釈を少なくし、1回目の塗装を十分乾燥(目安23℃、6時間)させてから2回目の塗装をすることでやけに止り性が向上します。シミ、あく面は止まりにくい場合がありますので、ウエスなどで水拭きを行い被塗表面を十分乾燥させてから塗装してください。
- ・素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製CH-2型で測定した場合)または5%以下(ケット科学社製HI500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
- ・表面のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目遣い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- ・ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整剤(ニッペセメントフィラー、ニッペフィラー200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョン(テ)の使用は避けてください。)
- ・内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
- ・素材にセメント成分などが使われている場合は、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
- ・新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
- ・塗装直後から頻りに人が触れるようなドアの一部や手すりなどでは、皮脂の影響により塗膜表面の軟化が起こるおそれがあります。必要に応じて保護プレートなどで接触防止を行ってください。
- ・カウンター、陳列棚、ベンチ、床面などが常置かれるような場所には跡がつくおそれがありますので塗装しないでください。
- ・塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- ・塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりが作業性が低下することがあります。
- ・屋外の塗装は降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- ・塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- ・飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- ・シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプライドオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- ・笠木、天端などの長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、剥れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- ・塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。薄めすぎは隠れ力不足、仕上がりが不良となり規定範囲を超えて希釈しないでください。
- ・上塗りに付えたイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。
- ・調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
- ・濃彩色や冴えた原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような箇所を使用する場合は、ファインシリコンフレキシュリヤーを上塗りに塗装してください。
- ・大型壁面塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- ・はけ塗り仕上げでローラー仕上げが混在する場合、使用量表面積が異なるため若干の色相差が出ますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ・ローラー塗りの場合、ローラー間は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。
- ・塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りは出来る限り入り隅まで入れてください。
- ・汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- ・はけなどの塗装用具の洗いは、ラッカーシンナーを使用してください。
- ・クロスの上の塗装は避けてください。
- ・ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、ハジキなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するなど、専用でご使用ください。
- ・可塑剤が多く含まれる塩ビソル鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることかかないようご注意ください。
- ・平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。使用前に内容物が均一になるようにかくはんし、開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから暗所で保存し、速やかに使い切ってください。

危険物表示

商品名	ファインウレタンU100		弾性/防錆形ファインウレタンU100		低汚染形ファインウレタンU100	
	塗料液	硬化剤	塗料液	硬化剤	塗料液	硬化剤
化学名	合成樹脂エナメル塗料	合成樹脂クリヤー塗料	合成樹脂エナメル塗料	合成樹脂クリヤー塗料	合成樹脂エナメル塗料	合成樹脂クリヤー塗料
危険物区分	第2石油類	第2石油類	第2石油類	第2石油類	第2石油類	第2石油類
危険物等級	Ⅲ (火気厳禁)	Ⅲ (火気厳禁)	Ⅲ (火気厳禁)	Ⅲ (火気厳禁)	Ⅲ (火気厳禁)	Ⅲ (火気厳禁)
有機溶剤区分	第3種	第3種	第3種	第3種	第3種	第2種

商品名	ニッペファイン浸透シーラー		ハイボンファインプライマーII/ニッペパーフェクトプライマー		ニッペ1液ファインウレタンU100木部下塗
	塗料液	硬化剤	塗料液	硬化剤	
化学名	合成樹脂クリヤー塗料	合成樹脂クリヤー塗料	合成樹脂エナメル塗料	合成樹脂クリヤー塗料	合成樹脂エナメル塗料
危険物区分	第2石油類	第2石油類	第2石油類	第2石油類	第2石油類
危険物等級	Ⅲ (火気厳禁)	Ⅲ (火気厳禁)	Ⅲ (火気厳禁)	Ⅲ (火気厳禁)	Ⅲ (火気厳禁)
有機溶剤区分	第3種	第3種	第2種	第2種	第2種

※塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒ししないでください。

安全衛生上の注意事項 <ニッペファインウレタンU100 ホワイト塗料液>

横倒禁止

- ・本来の用途以外に使用しないでください。
- ・使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
- ・熱/火花/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。一禁煙です。
- ・容器を密閉してください。
- ・容器および受器を接地してください。
- ・防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。
- ・火花を発生しない工具を使用してください。
- ・粉じん/ガス/蒸気/スプレーなどを吸入しないでください。
- ・屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。
- ・必要なとき以外は、環境への放出を避けてください。
- ・取り扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- ・適切な保護手袋/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用してください。
- ・必要に応じて個人用保護具を使用してください。
- ・吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- ・飲み込んだ場合: 気分が悪いときは、医師に連絡してください。口をすすいでください。
- ・眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
- ・眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
- ・皮膚や髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ取り除いてください。皮膚を流水シャワーで洗ってください。
- ・皮膚に付いた場合、多量の水と石鹸で洗ってください。
- ・取り扱った後、手を洗ってください。
- ・皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
- ・直ちに、すべての汚染された衣類を脱いでください/取り除いてください。再使用する場合に

- は洗濯してください。
- ・粉じん、蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
- ・暴露したとき、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
- ・緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。
- ・火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
- ・水を消火に使用しない。
- ・容器からこぼれたときには、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。
- ・施設して子供の手の届かないところに保管してください。
- ・直射日光や水濡れは厳禁です。
- ・積み重ねは3段までとしてください。
- ・日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないでください。
- ・内容物/容器を廃棄するときには、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- ・塗料、塗料容器、塗装具を廃棄するときには、産業廃棄物として処理してください。
- ・容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

※上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
 詳細な内容、表示例以外の商品については、製品安全データシート (MSDS) をご参照ください。
 本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危険

危険有害性情報



引火性液体および蒸気/皮膚刺激/強い眼刺激/発がんのおそれの疑い/生殖能力または胎児への悪影響のおそれ/呼吸刺激を起こすおそれ、または、眠気やめまいのおそれ/長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害のおそれ/水生生物に毒性(急性)/長期的影響により水生生物に毒性



■ 詳しい情報はホームページで

日本ペイント 建物 検索

<http://www.nipponpaint.co.jp/biz1/building.html>

※地域や色相により任意匠が異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

日本ペイント株式会社

お客さまセンター

☎03-3740-1120

☎06-6455-9113

<http://www.nipponpaint.co.jp/>

- 当社は2013年7月現在、ISO14001を全事業所で認証取得しています。
- このカタログは、再生紙を使用しています。

※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。

※本カタログ中の商品名・会社名は、日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。

※© Copyright 2013 NIPPON PAINT Co.,Ltd All rights reserved.

カタログNo.
NP-R073

KB130708T
2013年7月現在